

令和5年度第1回大竹市地域自立支援協議会 議事録

事務局

大変お待たせいたしました。

本日は皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

それでは、定刻となりましたので、ただいまから、令和5年度第1回大竹市地域自立支援協議会を開催します。

開催にあたり、福祉課長より挨拶をさせていただきます。

課長

皆様、こんばんは。本日は、大変お忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、日頃より本市障害福祉行政にご理解、ご協力賜り心よりお礼申し上げます。

さて、この自立支援協議会ですが、(略称) 障害者総合支援法に位置付けられている会議体であり、障害があっても地域で暮らし続けていけるよう、人をつなぎ、まちを作るための仕組みを考える場と位置付けられています。

地域には、障害者が安心して暮らすための「居住の場」や「居場所」や「働く場」の不足のほか、質・量ともに充実した支援者の確保、災害や急な疾病などの緊急時の対応など多くの課題があると思います。

こうした課題・問題について、障害者の皆様と行政、関係諸機関が手を携えて、共に考えていくことが、自立支援協議会に求められている役割となっていますので、この会議の場を活かして、様々な横のつながりが機能し、課題・問題の解決に寄与していければと考えています。

本日は、3つの協議事項及び報告事項を予定しております。

限られた時間ではございますが、本日も皆様方の活発なご意見をいただきますことをお願いしましてご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしく願いいたします。

事務局

(～事務局より、当日資料の確認を行う～)

- ・大竹市地域自立支援協議会委員一覧
- ・配席図
- ・大竹市地域自立支援協議会ネットワーク図
- ・大竹市地域自立支援協議会設置要綱
- ・大竹市地域自立支援協議会システムについて
- ・資料1、大竹市第7期障害福祉計画及び大竹市第3期障害児福祉計画に関するアンケート調査、ヒアリング調査の項目について
- ・資料2、相談支援に関する資料、手帳所持者数の推移
- ・資料3、部会活動の報告、部会開催について
- ・令和5年度、防ごう障害者虐待パンフレット

(～各委員・事務局・相談員の自己紹介を行う～)

(～傍聴席の設置についての説明を行う～)

<p>委員長</p>	<p>(～次第、協議事項についての確認を行う～)</p> <p>(～委員より、委員長及び副委員長の選出について「事務局一任」の声あり。その後、事務局より指名の委員2名に対し、承認の拍手あり、委員長及び副委員長が選出される～)</p> <p>それでは、次第5の協議事項及び報告事項に入ります。まず最初に大竹市第7期障害福祉計画及び大竹市第3期障害児福祉計画に関するアンケート調査、ヒアリング調査の項目について説明をお願いいたします。</p>
<p>コンサル タント</p>	<p>ご説明させていただきます。大変失礼ですが着座してご説明をさせていただけたらと思います。</p> <p>まず資料の方ですが、題目がアンケート調査について、という資料があるかと思いますが、そこからがアンケートに関する資料となっております。</p> <p>内容としましては最初に3ページほど、アンケート調査の概要であったり、前回と比べて追加修正等したものがありますので、修正概要についてご説明したものが3ページ、その後に実際にお配りするアンケート調査票35ページで構成されております。</p> <p>まずは、アンケート調査について最初の3ページにあります、アンケート調査の概要と書いたページを中心にご説明をさせていただきます。</p> <p>では1、アンケート調査の概要というところをご説明させていただきます。</p> <p>まず対象者ですが、障害者手帳保持者、または障害福祉サービスを利用している障害者等約1,500人を対象としております。</p> <p>調査方法については、調査票の郵送配布、郵送回収により行いますが、別途Webアンケートフォームを作成して、インターネット上でも回答できるように考えております。</p> <p>また調査期間について、予定として8月上旬から8月中旬と記載していますが、実際のところ8月中旬から下旬の発送予定になる見込みとなっております。</p> <p>次に、アンケート調査票の改定方針についてご説明いたします。</p> <p>今回の業務においては、計画期間が満了となった前回の大竹市第6期障害福祉計画及び大竹市第2期障害児福祉計画の改定を行うものとなっております。ちなみに大竹市第3次障害者基本計画の方は、令和8年度まで継続することになっております。</p> <p>現行計画を策定した令和2年度にもアンケートを同様に実施しており、今回のアンケート調査の項目について前回のアンケート実施時からどのような変化があったかを把握するという観点から、前回のアンケート調査票をベースとした上で必要に応じて項目の追加削除を行うものと考えております。</p> <p>また、どのような項目を追加削除していくかの判断について、改定方針というものを定めて行うものとしたので、それぞれの方針について簡単にご説明をさせていただきます。</p> <p>2ページ目の真ん中の枠で囲っております、アンケート調査票の改定方針と書いてあるところの説明になるのですが、まず一つ目、方針1で本業務に関連性の低い質問の削除を</p>

しております。先ほども申しましたが、今回は大竹市第3次障害者基本計画の改定は行わないということですので、前回のアンケート調査項目のうち、基本計画に関する質問で、かつ福祉計画の方に関連の低い質問は削除するものとしたしました。

詳細につきましては3ページ目に記載をしております、前回のアンケート調査に掲げておりました質問の区分を記載してありまして、それぞれの質問の区分が、前回計画で基本計画と福祉計画のどれに該当するものかを表にして整理したのとなっております。

その結果、3番、5番、8番、10番、11番とハッチングがかかっているんですけども、この辺りの質問に関しては、回答が基本計画に関わる事ということで、福祉計画の成果目標やサービスの利用見込み量の算出には関連性が低いとみなしたものであり、この3番、5番、8番、10番、11番の項目については、今回のアンケートについては削除を考えている次第です。

続きまして、二つ目の改定方針の説明に移ります。二つ目は国や県の方針を踏まえた質問の追加としてありますが、計画の策定において国の基本方針や県の計画策定に関する方針を元に、大竹市において目標見込み量の設定、またはアンケート調査結果による見込み量の推計が必要な項目についての質問を追加する様に考えております。

また、国の計画の方で、障害者に配慮した意思疎通支援のニーズを把握するための調査が、国の基本方針において、新たな目標として追加されたということもあり、この内容についても質問を追加しております。またそれに加え、現行計画で見込み量が設定してありますが、前回のアンケート項目にない質問が一部ありましたので、そちらについても今回項目を追加する考えで進めております。

方針は少し駆け足でご説明させていただきましたが、アンケート調査票で先ほどの方針の元で追加したものについては、赤色の文字で表現しております。それ以外のところは前回のアンケートを踏襲した質問となっております。その追加した内容ですが、質問自体を追加したのは、問13と問35の2つとなっております。追加した問13は強度行動障害があると言われたことがありますか、ということに関する質問となっております。こちらについては厚生労働省からこの質問の事例の指針が出ているのですが、その中で強度行動障害の障害者数を把握するというものが掲げられておりましたので、今回質問を追加しております。

もう一つ質問追加したのが問35になりまして、こちらは障害特性に配慮した意思疎通支援について、どのような支援を希望しますか、という質問になっており、こちらも国の基本方針の方で、障害特性別に利用者のニーズを把握するための調査が必要だという記載が今回追加されておりますので、それを踏まえ、質問を追加しています。それ以外の赤字がついているところに関しては、選択肢を追加したものがほとんどとなっております。

前回計画のアンケートで少し漏れていた内容があったというお話をしたのですが、それは21ページの、相談支援に関わる問いになるのですが、提示する問40の19番、20番、21番、この三つを今回補足で追加しております。それと合わせて、今回お配りしているアンケート調査票の中で国の今回の方針が前回のアンケートをベースに、新たに追加された指標を追加するという考え方で進めていますが、それと同様に国の方で、統合や削除をされたものが一部ありましたので、この場をお借りしましてその説明もさせていただきます。問41、こちらの②番障害児が外部の施設に通う支援、という項目がありまして、①が児童発達

コンサル
タント

支援、②が医療型児童発達支援という項目が立てられていたんですけども、①の児童発達支援の方に②の医療型児童発達支援の項目を統合ということが国の基本指針で記載がありましたので、それを踏まえて、この②番についても①番に統合してはどうかというふうに考えております。同じく問41、入所している障害児の支援という項目で、⑦医療型児童入所支援という項目があるんですけども、こちらの方については県で実施する事業ということもあり、今回は削除してもいいのではないかと考えております。これは現行計画に見込み量の記載がない項目となっておりますので、このような判断をいたしました。

以上簡単にではございますが、今回アンケート調査票に対し修正を行ったところについてのご説明をさせていただきます。ありがとうございました。

続いてヒアリング調査につきましてご説明させていただきます。座ったままで失礼させていただきます。

まず1、ヒアリング調査の概要につきまして、大竹市第7期障害福祉計画及び大竹市第3期障害児福祉計画に関するヒアリング調査の概要は次のとおりです。

まず対象者に関しては、障害福祉サービス提供事業者が19事業所、障害者関係団体が15団体、そして大竹市地域自立支援協議会の部会が9部会。この団体に対して、ヒアリング調査を実施する予定となっております。調査方法に関しましては、調査票の郵送配布、郵送回収を基本としつつ、障害福祉サービス提供事業者に関しましては、メールアドレス等を市の方で把握しておりますので、紙の調査票に加えて、ExcelまたはWordでの回答も可能な様にアンケート調査票の電子データをメールにて送付する予定となっております。そして調査期間に関しては、令和5年8月上旬から10月中旬程度を予定しております。

続きまして2、ヒアリング調査票の改定方針に進みたいと思います。

まず、アンケート調査と同様、ヒアリング調査につきましても、現行計画策定時に実施しております。ただ、ヒアリング調査の結果から、障害福祉に関する課題抽出において有効に活用されていないという状況もありましたので、今回ヒアリング調査の内容につきまして、改めて検討いたしました。

このため、以下に示す方針をもってヒアリング調査票の改定を行うものとします。

まず一つ目、障害福祉サービス提供事業者へのヒアリング調査票の改定方針としまして、アンケート調査において、把握を行う各種サービスの利用見込み量に対するサービス供給側の課題を抽出するため、各種サービスの供給量及び今後の拡大・縮小方針を把握することに主眼を置いた質問といたします。

上記に加えまして、各種サービスの供給量増加が進まない要因や事業所運営上の工夫や問題点等についても質問を行う予定としております。

二つ目になりますが、障害者関係団体、大竹市地域自立支援協議会各部会へのヒアリング調査票の改定方針としまして、成果目標の達成に向けた各種取り組みを検討するための基礎資料とすることを主な目的に、国の基本指針において示された8つの成果目標、設定分野を対象に、現状の問題点及び考えられる対策を把握することに主眼を置いた質問とすることを考えております。次のページに各ヒアリング調査の項目が載せてありますが、実際に調査票の方をめぐりながら各質問項目についてご説明をさせていただきたいと思っております。

	<p>まず1、貴団体についてということで、団体の内容について伺う予定です。</p> <p>続きまして2、実施しているサービス提供状況、定員、今後の方針についてということで、アンケート調査の方で見込み量の把握を行う各種サービスにつきまして、現状の営業状況＋今後の拡大縮小もしくは維持の方針についてヒアリングを行うことを考えております。</p> <p>続いて3、サービスの定員等や新規参入が進まない理由。4、利用者の受け入れができなかったことの有無。5、改善した現状の課題。6、職員の定着を図るための取り組み。7、行政と関係機関からの必要な支援。</p> <p>そして8、サービスの向上のために実施している取り組み。こちらに関しましては、当初主なものを三つ選択することを考えていましたが、他の質問項目と合わせて複数選択可という形で、いくつでも選択をしてもらえるように修正させていただきます。</p> <p>9、災害計画マニュアル等の整備状況。10、防災対策の実施状況。そして11、障害者等への虐待防止について。</p> <p>以上11項目についてのヒアリングを実施する予定としております。</p> <p>続きまして、障害者関係団体、大竹市地域自立支援協議会各部会へのヒアリング調査票としましては、1番目に貴団体についての団体の概要内容についてお答えいただいた上、2番目に現状の問題点と考えられる、もしくは希望される対策案について。ということで先ほど申し上げましたように、国もしくは大竹市の方で障害福祉政策の推進に向けて8つの分野において目標設定を行っているのですけれども、この8つの分野につきまして、現状の問題と考えられる対策をお聞きすることを考えております。</p> <p>そして3番目が団体の活動や運営について。そして4番目、自由意見については自由な回答を行っていただくことを考えております。</p> <p>以上、簡単ではありますが、アンケート調査及びヒアリング調査についてご説明させていただきました。</p>
<p>委員長</p>	<p>今ご説明いただきましたが、質問はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>インターネットでも回答可能に、という話だったのですが、この場合のインターネットというのはパソコンを指しているのか、スマホやタブレットでも可能になるのか、私はスマホと言われたら出来ないなと思ったり、逆に若い人はスマホでないと嫌だな、という方も多いと思うので、その辺りがどうなのかなと。</p> <p>次に、削除項目でもともと入ってなかったのかどうか分からないのですが、No.8の余暇活動等についてというところがあるのですが、障害のある方において、余暇の時間をどう過ごせるかっていうのは、とても大きな問題ではないかと。家の中でのインターネットなどを除いて何か他のものを、と考えた際に、ここに関してはすごく大きなテーマではないかと。それがこのアンケートの趣旨に沿わないということはあるかもしれないですけど、どのようなニーズがあるのか、という把握はあってもいいのかなと。私は小児科医なので、その関連分野として、放課後等デイサービスなどのサービス提供において、ぜひあったらいいと思っているのが、このような活動をするために自分で見つけていくような力。18歳までにぜひ身につけてほしいと。これが出来ていれば、実際に働きだしてお金を稼ぐ目標になりますし。</p>

	<p>他にこれが外れている、というところで例えば住まいや暮らしについて、や外出の状況について、というところで、ある程度すでに情報を拾われているということかもしれないですけど、その辺りはどうなのかな、と気になったところです。</p> <p>あと、実際のアンケートについての説明がなかったので、一つだけとりあえず思ったのですが、最初に「あなたについて基本的な事項を伺います。」というふうにあるのですが、この「あなた」は誰ですか？と言うと、障害のある方について聞いているのだとしたら、その上の「誰が回答しているのか」で、家族や家族以外の介助者を選んだ際に、家族や家族以外の介護者は質問に対してほとんど該当しないのでは。家族でも介助者でも、その方についての回答にはなると思うのですが。以上です。</p>
<p>コンサル タント</p>	<p>ありがとうございます。まずQRコード等のインターネットに関する回答の方法なんですけれども、URLとQRコードの両方の情報をお伝えしようと考えておりますので、インターネット上でもスマートフォンでも両方で対応できるというような状況を想定しております。</p> <p>二つ目にご指摘いただいた、この削除をすべき項目かどうかという話につきまして、先ほど説明のときも触れたのですが、今回の質問の数も多くなっている中で、基本計画に関係する内容で、この度の福祉計画に関するサービス見込み量等を算出するために必要なアンケートに絞り込みたいという趣旨もございました。原則、その基本指針にしか関連しないものという判断で、今回に関しては削除という判断をしたのですけれども、ご指摘がありましたように、これは絶対に入れた方が良いのではないかと、という質問があるようでしたら、そのあたりは検討していきます。</p> <p>三つ目について、「あなた」というのは誰が対象になっているのか、という話ですけれども、アンケート調査票の1ページ目に誤解がないようにと考えまして、1と問題の間にグレーチングがかかった説明文があるのですが、「あなた」について基本的な事柄を伺います、の下に括弧書きですが、この調査票の対象者ご本人の事を、今回のアンケート調査に関しては「あなた」といいます、と注釈をつけておりますので、この文章でご説明をしているつもりです。</p>
<p>委員</p>	<p>障害がある方に、この説明で伝わるかどうか。何かもう少しわかりやすい表現だといいなと思いました。</p>
<p>コンサル タント 委員</p>	<p>ご指摘ありましたように、もう一度わかりやすい表現を再考したいと思います。</p> <p>今回のアンケートではサービスを追加するための質問を追加していただきましてありがとうございます。</p> <p>全体として過不足なく良いアンケートになっていると思っで見させていただいたんですが、当事者目線で気になるところがありますので質問させてください。</p> <p>内容について一つ、表現について二つ。その他についてが三つありますので一つずつお答えください。よろしくお願ひします。</p> <p>まず、削除される質問区分中、地域防災についてなんですけど、避難行動要支援者の災害に備</p>

	<p>えるための個別計画は福祉サービスにならないのでしょうか。災害に備えてや災害時には相談員が対応する場面がたくさんあると思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>ご指摘をいただきましたことですが、今回の計画で大きく改定するところが、目標値の設定と、サービスに対する見込み量の把握、そして見込み量の確保のための政策、この3項目について、今回の計画で大きく改定するところになっております。その見込み量の把握のための項目がアンケート調査票の問40の表で並んでいるのですけれども、関連がある質問を残ささせていただいて、それ以外は今回一律して削除させていただきました。地域防災に関しては、改めて検討し、把握すべきだということであれば改めて把握をさせていただこうと思うので、ご指摘いただければと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>回答の意味がよくわからないですが、次の質問に移ります。 現在希望していても無いサービスを利用する予定、と回答した場合には、サービスを3年以内に利用できるようになる、と予定しているのでしょうか。期待してしまいます。他にもそのサービスを使いたい、と思っている人が期待するような質問がたくさん出てきます。これは大丈夫でしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>では福祉課の方から回答させていただきます。 この今後の利用予定というのは、大竹市内に事業所ができるから、ではなくて、ご本人が使いたいという気持ちがあるかどうか、使いたいサービスの見込み量やどういったニーズがあるのかなどを把握するためのアンケートなので、このように記載をしております。</p>
<p>委員</p>	<p>わかりにくかった場合は表現を考えないといけないと思います。これは誤解を招くのではないかと思います。もし予定して利用できなかつたらがっかりしますし、不信感にも繋がるのではないかと思います。どうでしょうか。ここについては書き方を考える必要があるので、ちょっと考えてみてください。</p>
	<p>次に行きます。問19「障害者が住み慣れた地域で生活するために」とありますが、これは「希望する地域」ではないのでしょうか。住みなれたところがいいとは限らない。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>はい。ご指摘いただきましたようにもう少しわかりやすい表現にした方がいいかと思いますので、そのご意見を元に再度表現を改めたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>その中の16番「情報の取得利用」というのはどういう意味でしょうか。 これは障害者向けのアンケートですので平易な言葉使いにしてください。お願いします。</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>そちらにつきましては、「情報の取得利用」、「意思の疎通」と二つの言葉が入っており、わかりにくい表現となっているので、必要に応じて16を二つに分けるとか、わかりやすい表現にしていきたいと思います。</p>

委員	<p>その他になります。これは次回以降に持ち越しになると思いますが、ぜひご検討ください。三つあります。</p> <p>一つ目、問いからNo.〇〇にお進みくださいという質問が多くて嫌になってくる、というのをよく聞きます。</p> <p>例えば、問3をご覧ください。問2に入れてもいいんじゃないかなと思います。</p> <p>同じように、問8は問7に入れてもいいのではないかなと思うのですがどうでしょうか。</p>
コンサル タント	<p>こちら、比較的シンプルで簡素な構成にしているのですが、問題によってはかなり複雑に問16に飛んで、17に飛んで、とか複雑なものがある中で、どのような形がわかりやすいのか検討したのですが、あまり一つの問題に、複数の問題を統合してしまうと、それに伴ってわかりにくさが発生する可能性も危惧されましたので、どちらが良いか、という判断の中で現在の形が良いと考え、今回は作らせていただきました。今回は選択から矢印で進んでいただくような形をとりましたが、どちらが良いかは、良し悪しはあると思いますので、協議していただき、ぜひ統合してほしいというお話があればそのようにさせていただきますので、ご検討いただければと思います。</p>
委員	<p>二つ目は注釈についてなんですが、結構注釈があります。これはページの上か下の余白に入れば本文の邪魔をしないのではないかなと思うのですが、どうでしょうか。</p> <p>かなりのボリュームになりますので、平易な言葉使いとか、見た目のスッキリ感についても配慮をお願いしたいと思いました。これは今回のことにはならないと思いますが気づいたことですので言わせていただいております。</p> <p>それからもう一つで終わりにになりますが、大竹市のアンケート調査は、とても親切でサービスの利用者全員を対象にしてくださるのですよね。先ほど言われたように、書く事が困難な人には福祉課に連絡をすれば手伝ってくれるとサービスも行き届いているのですが、なかなか当事者としては、アンケートと計画についてあまりいいことを聞かないんです。それはとてももったいない、と思います。ぜひ計画を作るときに、最初から当事者や関係者に事前にしっかり聞いて、ある程度のたたき台を作っていただければ、作る苦労もわかるし、共感も持てるのでは。せっかく良いアンケートにして頂いているので、回収率も上がるのではないかなと思います。以上です。</p>
委員長	<p>2人から今、質問がありましたけれども、まだ他にございますか。</p>
委員	<p>先ほどの質問の中で問18あたりが聞かれるかなと思っていたのですが、この質問はなかなかつらい質問だなと思っていました。</p> <p>3年後という近いところなので大丈夫と言えば大丈夫かもしれないのですが、実際に選んで実現出来るのかどうかはとても難しい。例えば父母祖父母、兄弟姉妹などの家族と一緒に暮らしたいというニーズはあるけれど、それは3年ならまだ可能かもしれない。しかし長い期間では難しいテーマなのかなと思ったりしますし、配偶者などパートナーが具体的にいる人はもちろんいいのだけれど、見つけれない方もいる、という状況があるところでこの</p>

	<p>質問が来るのもなかなか辛いのでは。その前の質問でも現在、あなたはどのように暮らしていますか、というところもありますけど、実態を聞かれると辛いかも、と感じた部分があります。</p> <p>ニーズとして把握したいという思いもわからなくもないけれど、と思いながら読みました。あと、アンケートは行った方がいいのですけれど、この結果のフィードバックをどのように行うのか、という話はなかったので、一般の方を含めて、結果をこのように反映する、というようなフィードバックを行う機会の予定があったら教えてください。</p>
<p>コンサル タント</p>	<p>問 18 についてなんですけれども、国の方でこのアンケートに関わる指標を打ち出されているのですが、そちらで部分的な改定がありまして、今後 3 年以内に、というのは国の資料の方でこのように修正を、という事例として出ておりましたので、この度採用したという経緯がございます。</p>
<p>事務局</p>	<p>福祉課です。このアンケートなど集計した結果ですが、素案を作るのが 12 月ぐらいで 3 月に皆さんに策定したものを正式に承認してもらおうという形になっておりますので、フィードバックするタイミングというのはその時になります。</p>
<p>委員</p>	<p>広く市民の方とか、このアンケートに答えてくれた障害のある方が、見聞きするような場面がどこかであるのかなということ、先ほどの問 18 に関しては、この質問自体の内容がすごいな、と思って読んだので、どう変えていいかはよくわかりませんし、ニーズとして確かに把握したいわけですが、何か難しい質問だな、と思った、そういう感想です。</p>
<p>委員長</p>	<p>委員の方からの質問があったのですが、国が指標としている、それだけで果たしていいのかどうか、そのあたり少し考えていただきたいところと、それから先ほど事務局の方から、素案はまとめて 12 月に発表、我々が最終的に確認するのが 3 月になるんじゃないかと。となると、多分その後すぐ市民の皆さんに渡る、ということになるのでしょうか、当事者等々の意見を聞くと、ヒアリングの期間などかなりタイトなスケジュールになるのだろうかと、余裕を持ったスケジュールが立たないのかな、というご意見ではないかと思えます。そのあたり少し考えていただきたいなど、大変タイトな日程だとは思いますが、そういうご意見を反映していただくということも大事なんじゃないかと。このアンケートで取る意見が反映されるかどうかということも考えると、広くそういうご意見を反映していただくということも大事だと思えます。日程的にも 8 月上旬から中旬下旬という日程が出ておりますので、大変厳しいと思えますけれども、何とか考えて修正していただきたいというふうに思います。その他ありますでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>日頃高齢者の方の支援をさせていただいているんですが、障害を持たれている方もたくさんいらっしゃいますので、今回の計画に対するアンケートというのはすごく非常に興味を持って見させていただきました。先ほど委員の方からお話があったと思うのですが、今回項目から外されている中で、緊急事態や災害、コロナもその一つだと思うのですが、事業所</p>

	<p>側のヒアリングの方には災害計画マニュアルの整備というところで、災害時にはどのように動くかというようなマニュアルを作成しなければならない、という事で今作っていると思うのですが、事業所にはこういう事を聞いている、その見込み量等々、という説明があったかと思うのですが、やはり事業所に聞くのであれば、当事者の方にも何か聞いてもいいのではないかなと思っています。やはりコロナのことも何年間かあった中で、なかなかもうサービスが使えなくなってしまったりとか、いろいろ受け入れが難しかったとか、色々な問題が高齢者でもありましたので、障害をお持ちの方の中でもかなりこの辺りは対策を練ることが必要ではないかなと思いました。なので、ぜひ項目に入れていただきたいと思っています。</p> <p>もう一点、先ほどの問 19、「障害者が住み慣れた地域で生活するために」という問いかけの仕方ですね。「住み慣れた」という言い方は今多分してないと思います。高齢者の方でも地域包括ケアシステムを作っていく中では住み慣れた地域だったのですが、住み慣れた地域が良いわけではないので、皆さんが今は自分で選択をするという、自分でここに住みたい、この家に住みたいとか、あの施設に住みたいとか、いろんな選択の仕方が今はあるので、もっとわかりやすい言い方というのが必要なんじゃないか、と思いましたので、ご意見させていただきます。</p>
事務局	<p>今の災害に関する避難計画の方なのですが、今回の計画の趣旨の方が福祉サービスの方になるので個別避難計画とはちょっと趣旨が違いますので、入っておりません。それから住み慣れた地域という言葉はどうか、というお話だったので、そこについてもまた検討してまいります。以上です。</p>
委員	<p>すいません、ちょっと受け取り方が違うかなと思うのですが、避難計画がどうこう言っているわけではなく、計画を立てるとか立てないとか、その個別の話ではなくて、緊急事態が起きたときに、皆さんが不安ではないのかな、ちゃんと自分で逃げられる、逃げられないとかもあると思います。計画とかではなくて、何かそういう緊急時のときの対応というか、頼れる人がもちろんどこかにいるのかもしれないけれども、そういうところがちょっと気になったので、個別避難計画がどうということではないです。</p>
委員長	<p>緊急時のことについてはこの度のアンケートでは聞わないと。障害者の個人の方には聞わないということになるのですかね。</p>
コンサルタント	<p>絶対に聞わない、という話ではなく、質問のボリュームがすごく多くなってしまったので、出来る限りスリム化するために色々な質問を削除してきたところですが、そのようなご要望がお二人から上がっておりますので、そこに関しましては改めて検討させていただければと思います。</p>
委員	<p>大竹市では障害福祉計画の策定委員会がないと伺いました。私は岩国市の方で障害福祉計画の委員になっているのですが、岩国市では策定委員会というものが実際にあります。アンケートについての修正であったりとか、添削を行う場を設けています。</p>

	<p>あと、私独自で回収率や回答率を上げるように、前回今回で今回はどうなのか、など比較したり、場合によっては内容の見直しであったりとか、回答率が下がるのであれば、今の方法では良くないのか、など色々見えてきますので、そういったことをされて、また次回に繋げていくというのも一つなのかなと思ったりします。情報としてお伝えします。</p>
委員長	<p>大竹の場合は策定委員会というこのアンケートに関する具体的な話をするような委員会は、取り立てて設けていないということなのですね。</p> <p>ですから先ほど言われたスケジュール、12月に素案ができて3月にこの協議会で提示すると、ということで、大竹市第7期障害福祉計画及び大竹市第3期障害児福祉計画が策定されると。</p>
事務局	<p>失礼します。3月の間には決定をしています。ホームページの方は少し遅れるかもしれませんが、皆さんへ配るのも4月に入ってからになるかもしれませんが、一応決定は3月中に行います。</p>
委員長	<p>となると、我々が聞いたときにはほぼそれがそのまま障害福祉計画という、そちらに移ると。だから3月に聞いたときにはもう修正のしようがない、という状況になってしまいますよね。大きなアンケートとかヒアリングをした後でのまとめということがあるのでなかなか厳しい。本当にタイトな日程になってしまいますし、それで行くしかない、ということなのでしょうけど、12月に素案をだいたいまとめて、そのまとめが3月に我々の委員会の中で報告されるのですから、恐らく議論をするような余地はあまりないのではないかと思いますよね。ですから、それが計画として出されるということになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>スケジュールについてですが、11月下旬か12月上旬ぐらいにもう1回自立支援協議会を開かせていただいて、そのときに素案を審査し、皆さんの意見を頂きます。それで3月に出来上がったものを皆さんに見ていただき、もう一度審査していただくという形になります。</p>
委員長	<p>次回の自立支援協議会が11月から12月あたりで開かれるということで、その中でアンケート、それからヒアリング調査についての概略が出ているので、我々の意見などが出されると。ですから修正の余地はある、ということですが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>大変忙しいでしょうけど今から文言を再考するなどありますので、できるだけ早くしていただいて、次の自立支援協議会11月あるいは12月に開催ということになっていますけれども、それまでに何とかまとめていただき、この委員会でそれをたたき台にして話をする、そして3月にその我々の意見が入った計画を立てると、ということになるかと思うのですが、それで委員の皆さんよろしいですか。</p> <p>それでは大変だと思えますけれどもよろしくお願いします。</p> <p>それではアンケートとヒアリング調査につきましては以上にさせていただきます。</p> <p>続きまして、次第5の令和4年度相談支援事業の実施状況報告について、事務局の方から報告をお願いします。</p>

<p>事務局</p>	<p>では報告を行います。</p> <p>相談支援事業の実施状況、相談件数のうち、令和2年度から令和4年度相談支援の支援内容について、令和4年度の報告についてはこの3年通年の状況と交えて報告させていただきます。</p> <p>ではまず、令和2年度から令和4年度の相談支援内容をご覧ください。大竹市内に設置されている3ヶ所の相談窓口がございます。令和4年度相談件数の合計は、下の表にありますように1,106件でした。相談内容の内訳は、同ページの表グラフを見ていただくとわかりますように、健康医療が突出しております。この傾向はどの市町も同じような傾向を示しております。障害に係る通院または制度の利用についての相談が一番多いということになります。続いて、不安解消の件数について、グラフを見ていただいたらおわかりかと思うのですが、前年度に比べて162件の増加がありましたので、今回は特にその不安解消の詳細についてご報告させていただこうと思っております。</p> <p>まず不安解消の内容としては、大きく五つの項目で相談の内容が上がってまいりました。まず1点目、障害の原因となっている疾患についての相談。2点目、家族についての相談。3点目、社会参加についての相談。4点目、専門的な対応を要した相談、そして5点目が、コロナ禍で特有であった相談、という内容でした。また、その表にありますその他の項目には何が含まれるか、ということなのですが、その他の項目に含まれる数には、制度上の障害には当たらない方々からのご相談、またご相談いただいたその場では詳細な内容はお話いただけない、相談することへの葛藤があるということでも詳しくお話が聞けないなどありました。その方が障害に該当するかどうかという事は不明でしたが、その相談の件数をその他に含めております。</p> <p>相談窓口として受け付けた内容のうち、既存の福祉サービスを利用しておられる方ももちろん多くいらっしゃる、今後もサービスの利用へつないでいくことがまず一旦重要であると各事業所とも考えております。ただ一方で、サービスに繋がらないけれども不安を抱えておられる方への相談対応も丁寧に行っていこうと考えております。</p> <p>今回新たに計画が構成されていく中で、このサービスに繋がらないところが地域のニーズを反映した支援に繋がっていく、そのような流れや動きを作っていけたらいいなと考えております。報告は以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま説明のありました令和4年度相談支援事業の実施状況報告について何か質疑や意見等はございますか。</p>
<p>委員</p>	<p>資料の方なのですが、相談支援事業というのはみらいと社協、福祉課がありますけれども、その相談件数の中に、これ以外の計画相談支援事業所の相談員への相談は入っていないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>他の相談支援事業所での相談件数は含めておりません。</p>

委員	どうしてでしょうか。
事務局	今ここに挙げてあげているものは、いわゆる相談窓口での件数の取り扱いになりまして、計画相談の件数についてはまた別の件数の取り扱いということになっております。
事務局	この相談件数ですが、市から相談の事業を委託している先というのが、社協とみらいの方になるので、そちらの情報を元に集計している状況です。
委員	ですが、相談する側はそういう事は関係ないですよ、一般的な相談か計画相談かっていうのは。相談支援専門員に相談したことがその相談内容に含まれない、というのは、おかしいのではないかと思います。
委員長	計画相談については、それぞれの担当となるから件数は市の方で把握されていないということですよ。計画相談の事業所に対しての相談については、その件数を集計してたりはしないので、ちょっと把握は出来ていない。
事務局	事業所への相談も計画を作る中で受けた相談の件数を一般的な相談として件数を集計してるかって言われたら、どうなのかという事もあるのですが、もし計画相談の事業所に集計をお願いする事が出来れば、入れることはできると思います。
委員長	一般的な相談を受ける事業所として事業を委託している先が2ヶ所しかないの、そういった相談の件数の集計は、2ヶ所と福祉課が受けた件数での合計しか出していないという状況ですね。
委員	のべ人数と書いてあるということは、1人の人が100回電話してきても1人なわけでしょうか。特定の何人かが同じようなことを繰り返し質問しているのではなく、400人ぐらいの方が、1人が1件か2件ぐらいなのか。件数が多い精神障害の方からの利用がアンチニーズとして増えているけど、実際の人数として増えている数なのかどうか。 あと、増えているとしたら、それがなぜなのか。 障害がある方の人数は大きな増減をしてなかったはずだと思っていますけれど、令和4年度に、なぜこんなに増えているのだろうか、その理由に当たる所を考えないと、件数もちろん大事だけれど、その辺りをどうお考えか、何かあれば教えてください。 資料の精神保健福祉手帳の所持者というところで、240人くらいしか精神障害の方はいないはずだと思うけど、件数はそれ以上なので、その辺りはどうなのかな、と思った次第です。
事務局	ご指摘ありがとうございます。実人数は、ご質問いただいたとおり、お1人の方が1名です。何回相談されても実人員は1人で1ということになります。そして先ほどおっしゃったとおり、なぜ今回これだけ相談件数が上がっているのか、ということについては、一つ大きな要因として、相談員の異動があった事が大きかったと思います。相談を聞く人が変わったこと

	<p>で、改めて関係作りのために一件ずつ相談を掘り起こしたというところが、まず一つの要因であったというふうに思います。</p> <p>もう一つは今、社会的な困難に向かい合っている方が、今回はとても多かったという印象がありました。</p> <p>一つは8050問題です。これは障害者ご本人の方が、高齢化している親御さんを介護する、という事になります。それが不安で仕方がない、そういう現実に向き合ったときに、数多くの方が相談に来られました。コロナ禍で、高齢のご両親が体調を崩される経験をされたときにいざそれに向き合ったときの不安、とても自分ではどうもできない、ということで、数多くの方が今までは黙っていた、とても相談できなかった、それでも相談に来ました、という方が多く、数としても上がっております。そしてもう一つは障害を持っている方が障害を持っているお子さんの育児に当たる際、困難に向き合っておられる方々の相談が多かった年です。訪問にも多く出かけましたし、サービスの調整について話し合い、既存のサービスではとても不安を解消できない、といったところにも対応していき、関連の方との相談も含めて、そのような事で相談件数が増大していった、という印象を持っています。あくまでも印象に過ぎないのですが、相談の内容や詳細が大切では、とおっしゃっているように、なぜ相談件数が増えているのか、というのは私達相談員が思っている以上に障害を抱えている方々の生活が窮地に立たされている、ということが多々起こっていると印象を持った1年でした。</p>
<p>委員長</p>	<p>今話を聞くと、今から更に相談は増えてくるのではないかという社会状況にはなっていますよね。そのあたりをどうするのか、このままでいいのだろうかどうだろうか、ということもこの会等々でも協議していかなければならないのではないかと思います。</p> <p>他によろしいですか。</p> <p>それでは次第5の令和4年度部会活動報告につきまして、事務局の方からよろしく申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>では報告させていただきます。</p> <p>資料3の各部会の報告書及び大竹市地域自立支援協議会の部会開催についてが参考資料となっております。もう一つ、自立支援協議会の組織図がありますが、そこにある手話言語及びコミュニケーション条例部会も含めて8部会だったのですが、これは令和5年度の1回目の部会にて、障害者のコミュニケーション条例部会と手話言語条例部会の二つに正式に別れて9部会になりました。この2つの部会について、開催日はこちらに書いてある日程からまた変わる予定ではありますが、今年度から正式に開催します。令和4年度はあまり部会開催が出来ず、報告にもそのように書いてありますので、また後をご覧ください。</p> <p>令和4年度の活動報告については、簡単にご説明をいたしたいと思います。令和4年度については、コロナでの中止は前年よりも少なく、比較的開催ができております。発達障害部会ではZoom開催もされております。今後はそういうことも検討しつつやっていたら、ということではありましたが、顔を合わせての開催の方がいいのかな、との思いもあります。そして、精神保健福祉部会、事業所部会、発達障害部会など情報共有や勉強、研修会パンフ</p>

	<p>レットの更新などを主な活動とされました。</p> <p>地域生活部会はタクシー券交付対象者の拡大についての提案、就労部会からは前年度の協議会の中で、交通費助成金の改善の提案をさせていただいて、実現することができました。今後も各部会から提案などを行いたいと聞き、代表者会議の中でも話しております。</p> <p>地域生活拠点部会については、令和6年度から緊急時受け入れが実施できるように今検討を行っています。</p> <p>身体障害者部会と障害者のコミュニケーション条例部会、手話言語条例部会は、新しく一緒に考えて行ける部会参加者を求められているということでした。</p> <p>令和5年度の活動計画もそれぞれまとめて提出しておりますので、また色々と考えて提案していきたいと思いますし、障害者の方々が地域で活動出来るよう取り組んでいきたいと思っています。報告は以上です。</p> <p>委員長 ただいま説明がありました令和5年度部会活動報告について何か質疑や意見等ございますか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>続きまして次第6、その他、情報交換について、委員の皆様から報告事項や情報等がございましたら、ご発言をお願いいたします。</p> <p>ないようでしたら事務局の方から何かありますか。</p> <p>事務局 事務局からお知らせします。先ほど申し上げました通り、次回の大竹市地域自立支援協議会の開催については、11月下旬から12月上旬で日程調整をさせていただき予定です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>委員長 ちょうど時間になりました。次回について先ほどありましたように、アンケート、ヒアリングに対してある程度のまとめが出来るということで、そのまとめに対して意見を加えるという時間がありますので、少し時間が長くなるかもしれませんが、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上で令和5年度第1回大竹市地域自立支援協議会を終了させていただきます。皆様ありがとうございました。</p> <p>【20：05 終了】</p>
--	---

--	--

--	--